



R6.11.6

令和6年度 朝日中学校 学校だより

朝のっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



10年後の「自分」にできることから 10年後は「こうありたい」へ

～10/28 地域語り合い～②

前号に引き続き、10月28日に開催された「地域語り合い」について、参加した皆さんの意見の一部をお知らせします。 ※■：生徒 / □：大人

Q:将来(例えば10年後)の自分にできること

【人口減少】

- 若い人たちの考えを生かした事業（イベント）をやれたら！若者と交流の場を増やせたら！
- 若い人たちの夢と希望を叶えるために全力で応援、バックアップします。
 - 昔からの知恵を本などにまとめる。
 - 朝日地区以外の人に来てもらうため、制服を変える。（生徒会で話し合ったりする）。
 - お母さんの実家を引き継いで、朝日で有名なものを売る！

【高齢化】

- まずは自分が元気である。交流の場を作る協力をする。
- まず朝日に住んでいる！ 仕事柄、世代間交流できる企画をつくる。
 - 地域の方との交流に積極的に参加する。朝日に住んでいないとしても交流会がある時に戻ってくる。
 - 高齢者との関りを大事にしていきたい。

【娯楽施設の少なさ】

- 企業、行政としてではなく、個人としてのボランティア活動として何かできないかと思う。
- どう生きていくかはわからないけれど、少しでもかかわりが持てるように、地域の人達と話しておいたりする。
- 役所で働きたいと思っているので、土木課などに入ればアスレチックなどの建設に関われると思う。
- 朝日地域に関心を持ち続けてもらえたらいいな！
- アスレチック施設に孫をつれて遊びに来ます。

【経済】

- クラウドファンディングで朝日に募金する。朝日にいなくても朝日に還元できるようなことをする。
- 朝日地域にカフェができたら、定期的に遊びに行く。都会に行っても戻ってくる。
- 朝日で働く。困っている人を支援してあげる。
- 地域がやろうとしていることに積極的に協力する。

【交通網の悪さ】

- 朝日地域の交通課題を整理する。朝日地域住民みんなが使いやすい交通を整備する。
- 車が運転できなくなったらバスを積極的に利用する。
- 朝日に住み続けて地域の行事に積極的に参加する。
 - 地域に会社を呼び込む
 - 国土交通省に入省する。

【地域の衰退】

- 10年後に自分が働いて朝日のよさを伝える。
- クラウドファンディングに挑戦したい！

- 自治会に地域づくりとして企画を提案。協力できる仲間を集める。
- 世代を超えた話し合いの場をつくる
- 地域のことを考えて行動しようとする若い人のお手伝いをしたい

【少子化】

- 結婚して2人以上子どもをもつ
- 朝日から出た人の話を聞く。
- イクメンになる
- こどもに関わるボランティア活動をする。
- 空き家を利用して子ども食堂をオープンする

【PR 不足】

- 地元をPRしたい！という若い世代に全力で協力できるように、資金力のある人になりたいと思います。
- まずは自分もSNSを使いこなし、朝日のこと、ものが取り上げられているものにはすべて♡をつける
- 大学とかで朝日を出ても帰ってくる
- 有名になっていたら、自分の知名度を使ってPRする

【飲食施設・特産物の少なさ】

- 食品に詳しくなる
- 食品関係の仕事に就いて、商品やキッチンカーづくりに参加

この「地域語り合い」に関する内容を学校だよりに掲載するに当たり、タイトルを「10年後の『自分』にできることから10年後は『こうありたい』へ」とした思いを述べさせていただきます。

そもそものきっかけは、20年くらい前のことですが、当時顧問をしていたサッカーに関わって、県の強化練習会に、山形県出身でオリンピックチームやJ1のチームでコーチ経験のある方をお呼びしたことがありました。その時、その方が、参加した中学生に対しておっしゃっていた言葉、「例えば20歳でプロになりたい、という目標を叶えるには、逆算して18歳の時にはどんな自分になっていなければならないか、さらに18歳の「なりたい自分」になっているためには、15歳の時にどんな自分でないといけないのか、そして15歳の「なりたい自分」になっているためには、今、何ができるようになっておかなければならないのかを考えて、それに取り組むこと、その取り組みを積み重ねていくことが夢を現実のものにする」んだ、という主旨のお話を聞いたことです。

これまでも君たちには「夢や希望を持つこと」についてお話をしてきました（詳しくは令和5年度の学校だよりNO.1やNO.10をご覧ください。学校HPから閲覧できます）。「こんな仕事に就きたい」という具体的な職業でなくても、「こんなことができる大人に」とか、「こんな行動ができる人に」でも構いません。いわば「理想の自分像」を持ってもらいたいと思っていました。「理想の自分像」を実現するには、逆算したとき、今何をすべきか、何ができるようになるために努力すべきか、が見えてきます。それを一つずつ積み上げていくことで、「理想の自分像」に近づいて行ってほしい、そう思っていました。

今回、この「地域語り合い」のなかで、10年後の自分が朝日地域のためにできること、したいことを考えていただきました。でも、皆さんの書いたシートを読むと、その多くは「今」の自分が将来できそうなこと、のように入れます。中学生の今、できることは限られているかもしれないけれど、まず「25歳の自分」はどうなっていたいか、どんなことができる25歳になりたいか、を考えてほしいと思います。10年後の自分、25歳の自分はこんな大人になっていて、だったらこんなことができるかもしれない、を考えてほしいと思っています。

「理想の自分像」に近づいたあるいは実現した10年後の君は、自分のため、君を支えてくれる多くの人のため、そして朝日地域のため、今考えていることよりもっと「できること」が広がっているかもしれません。より多くの人を幸せな気持ちにすることができるようになっていくかもしれません。